## 第5回 テキストの挿入と新しい要素の追加

今回の演習の目的は次の通りである。

- クリックした位置を SVG の図形内に表示する
- DOM ツリーに新しい要素を追加する
- 初期化の段階で要素を作成する
- 自前でアニメーションを作る
- JavaScript の配列とオブジェクトの取り扱い
- 自前のライブラリーを利用したプログラムの書き直し

課題に(必須)と書かれたものを最低行うこと。それ以外の課題はいくつか選択してよい。

課題 1 (SVG 内にテキストを表示) 演習のビデオ1を見て次の問いに答えよ。

- 1. (**必須**)「クリックした位置を SVG 内に表示」を実行し、位置を表示する text 要素内に空白がないとエラーが起こることをコンソールで確認せよ。
- 2. (**必須**)28 行目にある rect 要素を 23 行目にある circle 要素の前に置くと起こる不備な点を 指摘せよ。
  - •
  - •
  - •
- 3. SVG リスト 7.6 では同じ text 要素内に空白がないがエラーが起きないことを確認せよ。
- 4. 図形を変えてその位置を示す属性の値を表示するものを作成せよ
- 5. (**必須**)「直線を引く」を実行し、自分の言葉で解説をする。また、ソースコードと DOM ツリーに変化があるか確認せよ。
- 6. 配布資料 155 ページ図 7.14 にあるような色を変えた直線が引けるものを作成せよ。
- 7. 長方形をドラッグで描くものを作成せよ

課題 2 (プログラムで図形のデータを計算する) 演習のビデオ 2 を見て次の問いに答えよ。

- 1. (必須)「サイクロイドを描く」を実行せよ。
- 2. (必須) 正7角形を描け。
- 3. (必須)「サイクロイドのアニメーション」を実行せよ。
- 4. 一年時の Processing で描いたアニメーションを自前のアニメーションの方法で移植せよ。また、両者のコードの比較をせよ。

課題 3 (配列とオブジェクト) 演習のビデオ3の前半を見て次の問いに答えよ。

- 1. (必須) ビデオを参考にして、コンソールで適当な配列を操作した結果を報告せよ。コンソールの画面のキャプチャをつけること。
- 2. (**必須**) ビデオを参考にして、コンソールで適当なオブジェクト (都道府県名をキーに都道府県庁所在地を値、日本語の色名をキーにして英語の色名を値にする) を操作した結果を報告せよ。コンソールの画面のキャプチャをつけること。

課題 4 (自前のライブラリで今までのコードを書き直す) 演習のビデオ3の後半を見て次の問いに答えよ。

- 1. (必須) 関数群を利用して「ドラッグして直線を引く」を書き直せ。
- 2. (必須) 関数群を利用したときと利用しなかったときのコードの比較をせよ。 コードの比較:

- 3. 「乱数を使用して円をいくつか描く」において配列に色を追加したプログラムを作成せよ。 また、色の追加だけで動く理由も述べよ。 理由
- 4. 形の異なる3角形をランダムに表示するものを作成せよ

## 情報メディア専門ユニットI(演習)

第回 (5/23) ノートの内容

項目の最後の文字は次に示す項目の評価である。 $\mathbf{y}$  (プログラム等のリスト)、説 (プログラム説明が手書きまたは印刷である)、 $\mathbf{Z}$  (結果のキャプチャ画面)、 $\mathbf{Z}$  (考察が手書きまたは印刷である) を意味し、次の記号で評価を示す。 $\mathbf{Z}$  (不備またはない)、 $\mathbf{Z}$  (もう一息)、 $\mathbf{Z}$  (良い)、 $\mathbf{Z}$  (し、)、 $\mathbf{Z}$  (し、)

評価 項目	優れている	標準的	改良の余地あり
課題 1 (25%)	□サンプルプログラムに追加、修正があり、リスト、解説、実行時のキャプチャ画像、考察が十分にある。 リ説図考 □text要素内に空白がないとエラーが起こることをコンソールで確認。 図考 □実行後の DOM ツリーの変化を示す図がある。 図考 □rect要素の位置を変更したときに起こる不具合が十分指摘されている。 図考	□プログラムがサンプルのままである。解説、キャプチャ画像の不足 (開始時、実行結果のどちらかがない)、考  □text 要素内に空白がないコーナーので確認しずらい (内のといってでででででででででででででででででででででででででででででででででででで	□プログラムがサンプルのままである。解説、キャ実行結果の不足 (開始時、)、考がない。考がない。考がない。 リ 説 図 白白 ことがない。 リ に空ることがない。 ロールで確認していい。 ではらいでですが不適切)。 図 考 □実行後の DOM ツリ開める。 図 できらく後のどちららといい。 図 できたく後のどい。 図 できたいが、 が、 関 できたいが、 が、 関 にときない。 証 図 がいとりない。 説 図 考
課題 2 (25%)	□起動時にサイクロイド図形を描いている。ソースに十分な追加または修正がある。リ説図考 □正7角形の頂点位置を起動時に計算して、表示して計算して、表示して計算でも当り説図考 □サイクションが実行でな追加図考 □Proccessingで描いた課題をSVGに移植していて、は較がある。リ説図考	□起動時にサイクロイドロボークロイトの説明が少して、アースが小のではという。ののではいる。のではいる。のではいるのではない。のではいるのではない。のでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	□起動時にサイクロイド分か図が小さすぎる。リカンである。リカンである。 □ では、

評価 項目	優れている	標準的	改良の余地あり
課題 3 (25%)	□コンソールで空でない独自の配列 (要素に入ないる。)を定義ている。説 考 □ 定義した結果があり、プチャがある。図 考 □ のオブジェクトをいる。説	□配列の定義が単純である。 説 考 □lengthプロパティ、配列要素の追加、定義時よス、配列要素をリストアップの追加、のアトアップの重素の要素をリストでも果の画。図表が単純である。図まれてある。図は、オールンのでは、大力の追いのでは、大力の追いのでは、大力の追いのでは、大力のでは、大力のでは、大力のでは、大力のでは、大力のでは、大力のでは、大力のでは、大力のでは、大力のでは、大力のでは、大力のでは、大力のでは、大力のでは、大力が、大力では、大力が、大力では、大力が、大力では、大力が、大力では、大力が、大力が、大力が、大力が、大力が、大力が、大力が、大力が、大力が、大力が	□配列の定義がサンプルとほとんど同じである。 説 考 □length プロパティ、配列要素の追加、定義キスストアは、でのアクトア結果の変素をリストア結果の面で表があるとんどがコンとしてない。 図 考 □length プロパティを表がある。 説 考 □length プロパティを表がある。 説 考 □length プロパティングルを表がある。 説 オールメンバストレーで表がある。 説 オールメンドルメンドを表がある。 はとればいるである。 はというない。 図 考
課題 4 (25%)	□関数群を利用して「ド」のサインでの DOM のての DOM のでは、 getAttribute()、 getElementById などがる (setAttribute ない)。 別数群を利用したのでは、 getElementById などがません。 リ 説 図 考 としてのおいます。 サールには、 ままない。 サールには、 ままない。 サールには、 ままない。 サールには、 ままない。 カールには、 ままない。 まない。	□関数群を利用して「「の 明数群をで直線を引用して」の にといるのではというではという。 はとというではでする。 のメソッドを書きでいる。 のメソッドを書きでいる。 のメソッドを書きでいる。 のメソッドを書きでいる。 のメソッドを書きでいる。 のメソッドを書きでいる。 のメソッドを書きでいる。 のメソッドを書きでいる。 のメソッドを書きでいる。 のメソッドを書きでいる。 のメソッドを書きでいる。 関数群を利用したとの十 をの十分での中でのものはののはのがでいる。 のを使用にたののものがのである。 のをはいるののがでいる。 の大きのののはいるではいる。 のがいるののはいるではいる。 のもののはいるといる。 のもののはいるといる。 のもののはいるといる。 のもののはいるといる。 のもののはいるといる。 のもののはいるといる。 のもののはいるといるといるといる。 のもののはいるといるといるといるといるといるといるといるといるといるといるといるといるとい	□関数群を利用して、」ののメリッドのほとソークには、のののののののののののののののののののののののののののののののででは、のののののののの

## 情報メディア専門ユニット I(演習) 第回 (5/23) プレゼンテーション

この回の予習に基づいてグループ内で議論したことや工夫した点について報告する。

## グループメンバー学籍番号

評価	優れている		改良の余地あり
項目 発表 技法 (20%)	<ul><li>□はっきりと丁寧に説明していた。</li><li>□発表の際に聴衆の反応を確かめていた。</li><li>□間の取り方がよかった。</li></ul>	□説明が途切れることが 2,3 か所あった。 □声が少し大きすぎたり小さすぎた。 □発表の際に聴衆の方をあまり見ていないか反応を確かめていなかった。 □決められた発表時間を少し外れた。 □機材の設定や準備に少し時間がかかった。	□声が小さすぎて聞き取れなかった。 □聴衆のほうを全く見ない、反応を無視して行った。 □間がない発表であった。 □発表時間が極端に短い、または長すぎた。 □手元の資料や PC 画面を見て発表していた。 □機材の取り扱いや発表の準備がほとんどできていなかった。
発表 構成 (30%)	□初めに発表内容に関する概要があった。 □発表内容の順序に必然性があった □各構成の部分のバランスが良かった。 □図や表を使い簡潔にまとめられていた。 □引用は適切である。	□文字だけの発表で、概略が 少しつかみづらかった。 □図の内容が少し見づらかった。 □項目の内容の分量にばらつ きが少しあった。 □スライドごとに情報の詳し さが一部異なりすぎていた。 □ページの分量が発表時間に 対して少し足りない、また は多すぎた。	□ほとんどのスライドで情報 量が少なかった。 □一つのスライドに文字を詰めすぎていた。 □図が大きすぎたまたは小さすぎた。 □スライドごとに情報の詳しさが異なりすぎていた。 □スライドの内容が情報ごとにまとまっていなかった。
発表 内容 (50%)	□内容は適切であった。 □図の使い方がよかった。 □SVGファイルのデモが適切であった。 □内容が自分の言葉で述べられていた。 □それぞれの項目の関連性とバランスがよかった。 □発表したいことが十分に説明されていた。 □自分の意見が明確であった。	□内容のごく一部に説明不足なところがあった。 □図が少なくて説明が少しわかりずらかった。 □SVGファイルのデモの内容が少し足りなかった。 □内容に関して他からの引用が少し多かった。 □それぞれの項目の関連性に少し不十分なところがあった。 □発表内容の必要性の説明が少し足りなかった。	□内容が少なすぎる。 □図を使用していないのでわかりずらい。 □SVGファイルのデモの全くなかったか足りなかった。 □スライドの記述と発言内容に差がありすぎる。 □内容が多すぎて散漫である。 □内容が引用ばかりで自分でまとめた形跡がなかった。 □内容の説明が不十分であった。